

(様式2A) 個別箇所評価総括表【新規】 (要領第5の2(1)関係)

分野		荒廃山地の復旧等の治山		事業番号	4	事業名	山地治山						林務部 森林づくり推進課						
番号	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	全体事業費 (千円)	H25年度 事業費 (千円)	完了 予定 年度	項目毎の評価						部意見	行政改革課意見	現地 調査	申請	採択	備考	
							必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度	評点							ランク
1	小谷村	くだりせ 下里瀬	山腹工 0.57ha なだれ予防柵工 493m 実播工1,900㎡ 土留工5個	400,000	100,000	H27	B	A	A	A	A	82	A	下里瀬集落及び重要交通網を、なだれ災害及び土砂災害から保全するため、早急に対策工事を実施する必要がある。	重要性が高く、緊急性も認められる。	○	○	○	
2	大町市	きふね 木舟	溪間工 谷止工 1 個	19,000	19,000	H24	A	A	A	A	B	82	A	溪流内の不安定土砂の流出防止から、下流の人家、公共施設の保全を図るため、早急に対策工事を実施する必要がある。	必要性、重要性、緊急性が認められる。	○	○	H24年度2月 補正対応	
3	須坂市	ひたき 白滝	山腹工0.11ha 落石固定工 1,000㎡ 転石整理工10m3	42,000	19,600	H26	A	B	A	A	B	80	A	山腹上部斜面に不安定な巨石・転石群が点在している。下方には県道、人家など重要な保全対象が存在することから、対策を図る必要がある。	必要性、緊急性が認められる。	○	○		
4	坂城町	かりや 荻屋原	山腹工0.13ha 落石固定工 1,200㎡ 転石整理工10m3	50,000	19,000	H26	A	A	A	A	B	79	A	落石対策を目的とした治山事業施行地であるが、山腹斜面の侵食、風化により、新たな落石が発生している。下方に人家及び鉄道があることから、緊急に対策を図る必要がある。	必要性、重要性、緊急性が認められる。	○	○		
5	池田町	たき 瀧の沢	溪間工 谷止工3個 護岸工L=140m	83,000	26,000	H27	A	B	A	A	B	78	A	人家79戸が密集する洪坂団地を土砂災害から保全するため、早急に対策工事を実施する必要がある。	必要性、緊急性が認められる。	○	○	○	
6	飯田市	くりした 栗下	山腹工0.20ha 土留工4個 水路工167m	25,500	25,500	H25	B	A	A	A	B	78	A	平成22年7月豪雨により、山腹上部斜面の侵食、風化が進行している。下方には人家、小学校及び市道があることから、緊急に対策を図る必要がある。	重要性、緊急性が認められる。	○	○		
7	下諏訪町	こも つかわぐち 菰川口	溪間工 床固工3個	36,000	36,000	H25	B	A	A	A	A	77	A	平成24年7月豪雨により、溪岸侵食が進行し、溪床内に不安定土砂が堆積しており、時期出水時には直下の人家等に被害を及ぼす恐れが高いため、対策を行う必要がある。	重要性、緊急性が認められる。	○	○	○	
8	茅野市	きたやま 北山	山腹工4.99ha 土留工27個 実播工5,000㎡ 伏工39,000㎡	510,000	73,000	H29	B	A	B	A	A	77	A	平成24年7月の豪雨により、多数の山腹崩壊が発生し、国道や人家に土砂が流出した。また、当該地域には、手入れの遅れたカラマツ林が多数存在し、森林の機能が低下していることから、施設整備と森林整備を一体的に進め、森林の持つ土砂流出防止機能等の高度発揮を早急に図る必要がある。	重要性が高く、緊急性も認められる。	○	○	○	

(様式2A) 個別箇所評価総括表【新規】 (要領第5の2(1)関係)

分野		荒廃山地の復旧等の治山		事業番号	4	事業名	山地治山							林務部 森林づくり推進課					
番号	市町村名	(ふりがな)箇所名	事業概要	全体事業費(千円)	H25年度事業費(千円)	完了予定年度	項目毎の評価						部意見	行政改革課意見	現地調査	申請	採択	備考	
							必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度	評点							ランク
9	川上村	さが、かわ 下り川	山腹工0.50ha 土留工6個 法枠工530㎡	44,000	44,000	H25	A	A	A	B	B	77	A	平成23年9月豪雨により、山腹斜面の侵食、風化が進行している。下方には人家及び鉄道があることから、緊急に対策を図る必要がある。	重要性が高く、必要性も認められる。		○	○	
10	天龍村	とく、ほ 十久保	山腹工0.10ha 落石固定工700㎡	17,000	17,000	H25	B	A	A	A	B	77	A	落石対策を目的とした治山事業施行地であるが、山腹斜面の侵食、風化により、新たな落石が発生している。下方に村道があることから、早急に対策を図る必要がある。	重要性、緊急性が認められる。		○	○	
11	天龍村	まつしま 松島	山腹工0.10ha 土留工2個 伏工660㎡	11,000	11,000	H25	B	A	A	A	B	77	A	平成22年7月に拡大崩壊した山腹崩壊地があり、未だ不安定な状態となっている。下方には人家及び村道があることから、早急に対策を図る必要がある。	重要性、緊急性が認められる。		○	○	
12	川上村	あかや、くろ、さわ 赤谷口沢	溪間工 0.10ha 谷止工1個 床固工1個 護岸工4個	41,300	41,300	H25	B	A	A	A	B	76	A	平成23年7月豪雨により、溪岸侵食が進行し、溪床内に不安定土砂が堆積しており、時期出水時には直下の人家等に被害を及ぼす恐れが高いため、対策を行う必要がある。	重要性、緊急性が認められる。		○	○	
13	飯田市	ひらはた 平畑	溪間工 谷止工1個 山腹工0.90ha 土留工4個 伏工9,500㎡	300,000	42,500	H28	A	A	B	A	B	75	A	平成22年7月に拡大崩壊した山腹崩壊地があり、未だ不安定な状態となっている。下方には人家及び国道があることから、早急に対策を図る必要がある。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	○	○	○	
14	大町市	おしざわ 押沢	溪間工 谷止工3個 谷止工補修1個	77,100	51,600	H26	B	A	A	A	B	74	B	溪流の縦横侵食が進行し土砂流出を繰り返しており、下流の人家、公共施設等の保全を図るため、早急に対策工事を実施する必要がある。	重要性、緊急性が認められる。	○	○	○	
15	飯山市	かしら 柏尾	溪間工 流路工260m 植栽工500本	50,000	25,000	H26	B	A	A	B	A	74	B	豪雨の度に、溪流沿いの侵食、崩壊が進んでおり、次期出水時に下方の保全対象に土砂流出、流木被害が発生するおそれがあるため、対策工の実施が必要である。	重要性が認められる。	○	○	○	
16	辰野町	なしほら 梨洞	溪間工 谷止工1個 床固工4個 森林整備2.00ha	60,000			B	A	A	B	B	72	B	豪雨の度に、溪岸侵食が進んでおり、次期出水時に下方の保全対象に土砂流出、流木被害が発生するおそれがあり、対策工の必要性は感じられるが、地域との合意形成を進め、計画熟度を高めようでの事業実施が必要である。	重要性は認められる。				関係者との調整を進める。

(様式2A) 個別箇所評価総括表【新規】 (要領第5の2(1)関係)

分野		荒廃山地の復旧等の治山		事業番号	4	事業名	山地治山							林務部 森林づくり推進課					
番号	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	全体事業費 (千円)	H25年度 事業費 (千円)	完了 予定 年度	項目毎の評価						部意見	行政改革課意見	現地 調査	申請	採択	備考	
							必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度	評点							ランク
17	下條村	おおやまだ じんじや 大山田神社	山腹工0.06ha 吹付工490㎡	15,000	15,000	H25	B	A	B	A	B	72	B	落石対策を目的とした治山事業施行地であるが、山腹斜面の侵食、風化により、新たな落石が発生している。上方に神社、下方に村道があることから、緊急に対策を図る必要がある。	重要性、緊急性が認められる。		○	○	
18	長野市	かりや	山腹工0.18ha 法枠工1,800㎡	50,000			B	B	A	B	B	71	B	下方には一級河川があり、拡大崩壊が進むと河道を閉塞するおそれがあることから、早急に対策を図る必要は感じられるが、河川管理者との計画調整を十分行ってからの事業実施が必要である。	土砂流出対策の必要性は認められる。				関係者との調整を進める。
19	下諏訪町	たきの さわ 瀧乃沢	溪間工 谷止工2個	19,000	19,000	H25	B	A	A	B	A	71	B	平成24年7月豪雨により、溪岸侵食が進行し、溪床内に不安定土砂が堆積しており、時期出水時には直下の人家等に被害を及ぼす恐れが高いため、対策を行う必要がある。	重要性が認められる。		○	○	
20	塩尻市	ちようこうじ やま 長興寺山	溪間工 谷止工1個 流路工50m	21,300	21,300	H24	A	B	A	B	A	69	B	豪雨の度に、溪流沿いの侵食、崩壊が進んでおり、次期出水時に下方の保全対象に土砂流出、流木被害が発生するおそれがあるため、対策工の実施が必要である。	必要性が認められる。		○	○	H24年度2月補正対応
21	大桑村	うし たいら 牛ヶ平	山腹工0.41ha 土留工1個 落石固定工 2,350㎡	98,000	77,000	H26	A	B	A	B	B	68	B	豪雨の度に、溪流沿いの侵食、崩壊が進んでおり、次期出水時に下方の保全対象に土砂流出、流木被害が発生するおそれがあるため、対策工の実施が必要である。	必要性が認められる。		○	○	
22	木曾町	はしど 橋渡	山腹工0.24ha 落石固定工 3,568㎡	78,600	78,600	H25	B	A	B	B	B	68	B	落石対策を目的とした治山事業施行地であるが、山腹斜面の侵食、風化により、新たな落石が発生している。下方に主要地方道があることから、緊急に対策を図る必要がある。	重要性が認められる。		○	○	
23	南木曾町	いっこくよち 一石橋	溪間工 谷止工1個 床固工4個 木工沈床工122基	38,000	38,000	H24	C	B	B	A	B	67	B	溪流上部に山腹崩壊地があり、豪雨の度に、溪流内に土砂が流出するため、溪床内に不安定土砂が堆積している。次期出水時に下方の県道に土砂流出するおそれがあるため、対策工の実施が必要である。	緊急性が認められる。		○	○	H24年度2月補正対応
24	長野市	はしば 橋場	山腹工0.03ha ワイヤー連結型 鉄筋挿入工 270㎡ 他	25,500	25,500	H24	B	A	A	B	B	67	B	落石対策を目的とした治山事業施行地であるが、山腹斜面の侵食、風化により、新たな落石が発生している。下方に主要地方道があることから、緊急に対策を図る必要がある。	重要性が認められる。		○	○	H24年度2月補正対応

(様式2A) 個別箇所評価総括表【新規】 (要領第5の2(1)関係)

分野		荒廃山地の復旧等の治山		事業番号	4	事業名	山地治山						林務部 森林づくり推進課						
番号	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	全体事業費 (千円)	H25年度 事業費 (千円)	完了 予定 年度	項目毎の評価						部意見	行政改革課意見	現地 調査	申請	採択	備考	
							必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度	評点							ランク
25	木祖村	おおきまざわ 大笹沢	溪間工 谷止工1個 床固工3個 山腹工0.21ha 法枠工1,960㎡	160,000	56,600	H26	A	B	A	B	B	66	B	溪流上部に大規模な山腹崩壊地があり、渓床内に大量の流木及び不安定土砂が堆積している。次期出水時に下方の県道に土砂流出するおそれがあるため、対策工の実施が必要である。	必要性が認められる。	○	○	○	
26	上松町	おおいわ 大岩	山腹工0.30ha 落石固定工 3,100㎡ 実播工650㎡	71,000	34,000	H26	B	C	A	B	B	66	B	落石対策を目的とした治山事業施行地であるが、山腹斜面の侵食、風化により、新たな落石が発生している。下方に林道があることから、早急に対策を図る必要がある。	山腹対策の必要性は認められる。		○	○	
27	泰阜村	たもと 田本	山腹工0.05ha 落石防護柵15m 落石固定工 1,000㎡	90,000	50,000	H26	C	B	A	B	B	65	B	平成24年6月豪雨により、山腹上部斜面の侵食、風化が進行している。下方には鉄道など重要な保全対象が存在することから、対策を図る必要がある。	落石対策の必要性は認められる。		○	○	
28	喬木村	おがわ 小川	山腹工0.18ha 落石固定工 730㎡ 根固工1m3	40,000	20,000	H26	B	B	B	B	B	65	B	落石対策を目的とした治山事業施行地であるが、山腹斜面の侵食、風化により、新たな落石が発生している。下方に村道及び県道があることから、緊急に対策を図る必要がある。	落石対策の必要性は認められる。		○	○	
29	筑北村	くろみ ざわ 胡桃沢	溪間工 谷止工5個	70,000	18,000	H26	A	C	A	B	B	64	B	平成23年5月豪雨により、山腹崩壊が発生し、渓床内に不安定土砂が堆積しており、時期出水時には直下の林道等に被害を及ぼす恐れが高いため、対策を行う必要がある。	必要性は認められる。	○	○	○	
30	木曾町	しつべいざわ 尻平沢	山腹工0.30ha 伏工5,400㎡	65,500	65,500	H24	B	B	A	C	B	64	B	豪雨の度に、山腹上部斜面の侵食、風化が進行している。下方には林道、国道鉄道など重要な保全対象が存在することから、対策を図る必要がある。	土砂流出対策の必要性は認められる。	○	○	○	H24年度2月 補正対応
31	木祖村	おおきわ 大沢	溪間工 谷止工2個	30,000	30,000	H24	B	B	A	C	B	63	B	豪雨の度に、溪流沿いの侵食、崩壊が進んでおり、次期出水時に下方の保全対象に土砂流出、流木被害が発生するおそれがあるため、対策工の実施が必要である。	土砂流出対策の必要性は認められる。		○	○	H24年度2月 補正対応
32	小川村	いも ざわ 芋ノ沢	溪間工 谷止工2個	26,100	26,100	H25	C	C	A	A	B	63	B	豪雨の度に、溪流沿いの侵食、崩壊が進んでおり、次期出水時に下方の保全対象に土砂流出、流木被害が発生するおそれがあるため、対策工の実施が必要である。	緊急性は認められる。		○	○	

(様式2A) 個別箇所評価総括表【新規】 (要領第5の2(1)関係)

分野		事業番号		事業名		林務部 森林づくり推進課													
4		4		山地治山															
番号	市町村名	(ふりがな) 箇所名	事業概要	全体事業費 (千円)	H25年度 事業費 (千円)	完了 予定 年度	項目毎の評価						部意見	行政改革課意見	現地 調査	申請	採択	備考	
							必要性	重要性	効率性	緊急性	計画熟度	評点							ランク
33	小川村	なかお 中尾	溪間工 谷止工2個 森林整備1.00ha	25,600	25,600	H25	A	C	B	B	B	61	B	豪雨の度に、溪流沿いの侵食、崩壊が進んでおり、次期出水時に下方の保全対象に土砂流出、流木被害が発生するおそれがあるため、対策工の実施が必要である。	必要性は認められる。		○	○	
34	上松町	かけはし 棧	山腹工0.10ha	22,500			B	B	B	B	B	59	B	山腹崩壊地の復旧の必要性はあるものの、町道直下の崩壊地であり、道路管理者また河川管理者との調整を進め、計画熟度を深めたうえで事業実施が必要である。	山腹対策の必要性は認められる。				関係機関との調整を含め全体計画を再検討する。
合 計			34箇所	2,712,000	1,150,700		A：配点の75%以上 B：50%以上75%未満 C：50%未満												